

江南市まちづくり会議（分野別会議） 議事要旨

会議名	平成 28 年度第 2 回 第 3 分科会（都市生活基盤分野）
日時	平成 28 年 10 月 18 日（火） 午前 9 時 10 分～午前 10 時 20 分
場所	江南市役所 3 階 第 4 委員会室
出席者	市民委員 加納 勇、柴田 広美、宮地 義量、加藤 幸治、永井 義康
	市職員 野田 憲一、堀尾 道正、馬場 智紀、沢田 富美夫、小林 悟司（代理 夫馬 靖幸）、郷原 実智雄
傍聴者	なし
議題	1. 施策評価の結果について 2. その他
資料	江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨

◆ 会議結果 ◆

1. 施策評価の結果について

【柱3】花と緑あふれる公園づくり

- ・前回の会議で保留となっていた「一人当たりの都市公園面積」について、地域ごとに数値を算出して比較するとどうなるのかとの質問に対して、市を大きく 4 つの地域に分割した場合の数値を示し、市の北部地域と南部地域で比較すると大きな開きがあり、特に南部地域において一人当たりの都市公園面積が少ないことから、今後は市街化区域を中心に整備を進めてきたいとの説明がありました。

【柱5】浸水被害のないまちづくり

- ・資料 4-1 及び 4-2 に基づき、委員（土木課長）より説明がありました。

【施策①】河川の改修整備と雨水抑制機能の強化

- ・青木川放水路について工事は完了しているのかとの質問があり、江南市内の工事は完了しているとの説明がありました。
- ・雨水対策として、青木川の改修を実施する予定はあるのかとの質問があり、青木川は県が管理している河川であるため、改修事業は県執行の事業となる。現在、青木川においては五明地内に第 4 調節池の整備が進められているとの説明がありました。
- ・雨水貯留浸透施設設置費補助金申請件数について、平成 27 年度は目標値に達しておらず雨マークとなっているが、過去からの累積申請件数を平均すると目標値に近い数値になるのではないのかとの質問があり、平成 23 年度のゲリラ豪雨と補助率を上げたことによる影響で平成 24 年度から 25 年度の申請件数が大幅に増加した年度があるため、平均すれば目標値に近い数値になると思われるとの説明がありました。

【柱6】安心・安全な住環境の確保

- ・資料 4-1 及び 4-2 に基づき、委員（建築課長）より説明がありました。

【施策①】適切な開発許可と建築指導及び、木造住宅耐震化の促進

- ・数年前に都市計画法の規制緩和措置による都市計画法の許可の件数は増えたのかとの質問があり、規制緩和された地域に住宅等を建てられるようになったので、都市計画法の許可の件数は増えているとの説明がありました。

- ・耐震診断についてどのような PR をしているかとの質問があり、今年度については熊本地震を受けて、広報の配布と同時に回覧する文書や、総合防災訓練で耐震診断についてのブースを設営し PR を行った。理想は戸別訪問を行い、説明をさせてもらうことがよいとの説明がありました。
- ・「耐震診断の診断実施済棟数」の目標値は高すぎるのではないかととの質問があり、現時点における耐震診断を実施できる最高値を目標値としているとの説明がありました。
- ・耐震診断について、建物の増築によって耐震診断の対象外と勘違いされる場合があるため、無料耐震診断の対象となる基準を市民に対して説明をしっかりと行う必要があるとの意見がありました。
- ・家主が別に家屋を建てる等により、空き家となった家屋も耐震化の対象と捉えているのかとの質問があり、昭和 56 年以前に建てられた家屋をデータ管理しているため、そうした家屋も含まれており、少なからず耐震化率に影響を与えているとの説明がありました。

【施策②】市営住宅整備・維持管理、及び市有建築物の整備

- ・市営住宅の空室率はどれくらいかとの質問があり、引越し等で部屋に空きが出た場合は広報等で募集のお知らせを行っているため空室となる状態は少ないとの説明がありました。

【柱 7】健全な水道事業経営と安全な水の安定供給

- ・資料 4-1 及び 4-2 に基づき、委員（水道課長）より説明がありました。

【施策①】水道事業の健全な運営

- ・水道事業の運営状況について、市民に対し定期的に周知していると聞いているが、どのような方法で行っているのかとの質問があり、「江南の水道」を年 2 回発行し予算、決算を中心に事業報告を行い、昨年度はその他に基幹管路更新計画を掲載して市民に周知したとの説明がありました。

【施策②】水道施設の整備と水道水の安定供給

- ・耐震化について、どのくらいまで実施していくのかとの質問があり、基幹管路については平成 29 年度から 43 年度までの第 1 次基幹管路更新計画に基づき、災害拠点病院、災害復旧活動拠点、江南市地域防災計画に定める応急給水施設（指定避難所、指定緊急避難場所）へ繋がる配水本管（口径 200 ミリメートル以上の配水管）の更新を予定している。また、基幹管路以外の配水支管（口径 200 ミリメートル未満の配水管）については、当面、平成 28 年度から 37 年度までの第 3 次配水管改良計画に基づき、簡易水道から引き継いだ老朽管や漏水が多発している管路などの耐震化更新を進めると共に、災害拠点病院、災害復旧活動拠点及び応急給水施設へ繋がる管路の耐震化も、基幹管路の更新に併せて実施を予定しているとの説明がありました。
- ・施設の更新について、市民に向けて更新状況を示すことは出来ないかとの質問があり、災害時の早期給水を第一に、基幹管路及びこれに繋がる配水支管の耐震化更新を予定しているなか、老朽管や漏水多発管路などの配水管改良や公共下水道の整備に併せた配水管布設替により耐震化更新を実施しているのが現状で、去る 8 月の江南市総合防災訓練の折に、江南市水道工事店協同組合の協力を得て、実際に使用している耐震管の PR を行ったとの説明がありました。

2. その他

- ・議事がすべて終了したため、第 3 回の会議は開催しない旨事務局より説明がありました。